

10月16日

世界食料デー

- 私たちが今できること -



つながり
PROJECT
OITA TRINITA

01 世界食料デーと食料問題

世界食料デーとは？



毎年10月16日は、世界の食料問題を考える日として、国連により1981年から「世界食料デー」として定められています。これは、飢餓に苦しむ人々、全ての人々に健康的な食事を確保する必要性について、世界的な意識喚起と行動を促す国連の記念日であり、世界の一人ひとりが協力し合い、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことを目的としたものです。^{注1}

^{注1)} 出典：農林水産省 Web サイト、「10月16日は世界食料デーです！」
(<https://www.maff.go.jp/j/press/kokusai/kikou/201015.html>)

いま、世界で何が起きているの？

世界の穀物生産量は毎年26億トン以上。在庫もあるので、今、世界ではすべての人が十分に食べられるだけの食料は生産されていると言われていています。それにもかかわらず、世界では最大8億2800万人、10人に1人が慢性的な栄養不足です。^{注2}

Q. 食べものは足りているのにどうして？

A. 『作っているけど
十分に食べられない』

極度の貧困の中で生きる人たちの約8割が農村部に暮らし、多くは農業で生計を立てています。自然に頼った農業をしている為、安定した収入も得られなくなり生活全般に影響してきます。^{注3}

^{注2)注3)注4)} 出典：「世界食料デー」月間 Web サイト、「世界の食料問題」(<https://worldfoodday-japan.net/world/>)

A. 『高くて買えない』

国内で不足している、あるいは調達できない食料を輸入に頼っている国では、国際市場での食料価格の変化に食生活が大きく左右されてしまいます。^{注4}

「世界食料デー」月間へ向けて

世界食料デーをきっかけに、飢餓や食料問題について考え、解決に向けて一緒に行動する1ヵ月です。日本では2008年から「世界食料デー」のある10月を「世界食料デー」月間としています。^{注5}

この「世界食料デー」月間を機に食について考え、なにが行動を起こしてみませんか？



^{注5)} 出典：「世界食料デー」月間 Web サイト、「世界食料デー」月間とは？」
(<https://worldfoodday-japan.net/about/>)

02 食品ロスと削減への取り組み

食品ロスの現状

食品ロスとは、食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。

日本の食品ロス量年間522万トンのうち、事業系は275万トンで、主に規格外品、返品、売れ残り、食べ残しなど、家庭系からは247万トンで、主に食べ残し、手つかずの食品（直接廃棄）、皮の剥きすぎなど（過剰除去）が発生要因です。^{注6}

^{注6} 出典：消費者庁 Web サイト、「食品ロスって何？」（<https://www.no-foodloss.caa.go.jp/whats.html>）

削減への取り組み

食品ロスのおよそ半分は家庭から発生しています。一人ひとりが意識して行動し、家庭からの食品ロスを削減していくことが大切です。

普段の買い物や調理、外食の際に少し工夫をするだけで、食品ロスを減らすことができます。まずは自分に出来そうなものからチャレンジしてみませんか？

私たちにできる食品ロス削減へのアクション

買い物編

- 自宅にある食材を把握しておく
- 必要な分だけ買う
- すぐ使う食品は棚の手前から取る
- 賞味期限や消費期限を確認する

調理編

- 食材は適切な保存方法で保存する
- 食べきれぬ分だけ作る
- 余った料理はリメイクなどで消費する
- 古い食材から使用する

外食編

- 食べきれぬ分だけ注文する

活動編

- フードドライブに参加する



03 フードバンクおおいたの活動

フードバンクとは？

賞味期限内でまだ十分食べられるにもかかわらず、ハコが壊れたり、印字ミスなどで販売できない食品などを、企業や家庭から寄付してもらい、必要としている人や団体に無償で提供する活動です。

フードバンクおおいたの活動

大分県では社会福祉法人大分県社会福祉協議会が平成28年にフードバンク

おおいたを開設しました。フードバンクおおいたは、まだ食べられるのに処分せざるを得ない食料を預かり、支援機関等を通して本当に食料を必要としている人や施設・子ども食堂等に無償で届けるフードバンク事業を展開しています。そしてフードバンク活動による食品の廃棄物削減と、地域資源の有効活用を行うしくみをつくり、住んでいる地域の中で誰もが尊厳をもって「その人らしい」生活を営むことのできる地域づくりを積極的に進めています。

フードバンクおおいた
ホームページ

詳しい情報はHPをご覧ください。



【食べ物を集める】

様々な企業への呼びかけや、フードドライブ活動を通して、食品（災害時用備蓄品含む）を提供していただきます。

フードドライブ

家庭で余っている食品を持ち寄り、「食」に困っている方などに役立てるボランティア活動です。

【食べ物を届ける】

「食」に困っている方々に、市町村社会福祉協議会等支援団体の協力を得ながら、自立に向けた支援の一環として食品を提供しています。

また、事業普及のために、フードバンクキッチンの開催や子ども食堂の支援、フードバンクボランティアの常時募集を行っております。

食品の流れ



企業



個人

大分県社会福祉協議会
フードバンクおおいた

市町村社協・福祉施設

NPO等（個人・法人）

民生委員・児童委員

子ども食堂

「食」に困っている方

相対的貧困児童・母子

施設・団体

避難所・福祉避難所・
在宅被災者

04 「子ども食堂」や 「子どもの居場所」

「子ども食堂」ってどんなところ？大人が行ってもいいの？

子ども食堂は地域にある『みんなの居場所』。子どもから高齢者まで誰でも参加できます。子どもや親、地域の人たちに無料や低価格で食事を提供したり、子ども達が安心して遊び、学習できる場所として地域の方々や地元企業などが協力して運営しています。

子ども食堂の主な 3 つの役割

1 地域の多世代交流型の食堂としての役割

県内では、地域のすべての子どもや親（保護者）、シニア世代などを対象とする地域の多世代交流型の食堂が増え、最近はこれが主流となっています。



2 いこいの場所としての役割

食事だけという形を取らず、学習支援や自宅以外で過ごすいこいの場所（居場所）を提供するなかで、食事をするところも増えてきています。



3 子どもたちやひとり暮らしの高齢者のために

地域のおばちゃん、おじちゃん、高校・大学生などのボランティアさんが、その地域の子どもたちやひとり暮らしの高齢者などのために活動しています。

 子ども食堂に行ってみよう

大分県内の子ども食堂は96か所
(2022年7月31日時点)

詳しい情報はHPをご覧ください。▶





世界食料デー企画 協賛企業



【特別協賛】 ネットワンシステムズ (株)



USUKIを応援する会



(株) 蜂の音



(医) 愛育会 曾根崎産婦人科医院



(株) 大分建設新聞社



ジェイリース (株)



(株)ハウジングトップ



(医) 藤本育成会 大分こども病院



ミサワホーム九州 (株)

ソーシャルアクション活動

大分トリニータでは様々な社会課題にサッカーチームとして取り組み、未来に向けて地域と共に歩む活動を行っています。



古着 de ワクチン



パラスポーツ体験



献血活動

「つなぐプロジェクト」世界食料デー企画特別冊子では、世界食料デーや食品ロス削減について、また身近なフードバンクの活動や子ども食堂についてご紹介させていただきました。この冊子を見ていただいた方が、少しでも「食」について関心をお持ちいただき、食品ロス削減につながる行動を出来ることから少しずつ始めていただけたら幸いです。



